



2026年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年2月13日

上場会社名 太洋物産株式会社 上場取引所 東

コード番号 9941 URL <https://www.taiyo-bussan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松島 伸介

問合せ先責任者 (役職名) 総務部 部長 (氏名) 井坂 勇登 TEL 03-5946-8000

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無： 有

決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第1四半期の業績 (2025年10月1日～2025年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第1四半期	4,873	△17.2	82	58.3	61	43.8	50	40.4
2025年9月期第1四半期	5,891	33.3	52	△18.7	42	△13.9	36	△8.5
		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益				1株当たり 四半期純利益		
		円 銭	円 銭				円 銭	
2026年9月期第1四半期		26.31	26.31				541.67	
2025年9月期第1四半期		18.73	18.07				504.55	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2026年9月期第1四半期	百万円 8,244	百万円 1,047	% 12.4	円 銭 541.67
2025年9月期	8,363	993	11.6	504.55

(参考) 自己資本 2026年9月期第1四半期 1,027 百万円 2025年9月期 975 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年9月期	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年9月期	-	-	-	-	-
2026年9月期(予想)		0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年9月期の業績予想 (2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	25,052	27.4	290	17.2	228	31.2	182	22.6	94.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | | |
|----------------------|---|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : | 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : | 無 |
| ④ 修正再表示 | : | 無 |

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年9月期 1Q	1,934,019 株	2025年9月期	1,934,019 株
② 期末自己株式数	2026年9月期 1Q	823 株	2025年9月期	823 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年9月期 1Q	1,933,196 株	2025年9月期 1Q	1,933,230 株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5
(セグメント情報等の注記)	5

1. 経営成績の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間における我が国の経済は、不安定な国際情勢による地政学リスク、過度の円安による輸入コスト及びエネルギーコストの継続した上昇による物価上昇に伴う消費の減速など、消費マインドの見通しは足踏み状態が続いております。このように先行きが見えない状況の中、当第1四半期累計期間末を迎えることとなりました。

このような環境の下、当社の主要事業である食肉関連においては、外食産業を中心とした牛肉・鶏肉の原料販売については、原料価格の上昇や輸送コストの上昇により利益を確保することが難しい状況となっております。一方、加工食品については、付加価値のついた新規アイテムの提案による成約や、利益率の高い商材の販売、外食産業の海外出店に向けた販売を増加させることができました。

次に農産品では、新規契約の取引を進めておりますが、売上高・取扱数量ともに減少となりました。中国関連の取引においては、中国向けの輸出取引・三国間取引を中心に売上高・取扱数量ともに減少となりました。輸入豚肉に関しては、供給過多による在庫過剰感が継いでおり、前年同四半期比では売上高・取扱数量ともに減少となりました。

この結果、当第1四半期累計期間における売上高は48億73百万円(前年同四半期累計期間比17.2%減)、営業利益82百万円(前年同四半期累計期間比58.3%増)、経常利益61百万円(前年同四半期累計期間比43.8%増)、四半期純利益50百万円(前年同四半期累計期間比40.4%増)となりました。

セグメントごとの経営成績の概況は、次のとおりであります。

(食料部)

牛肉については、外食産業への販売をメインとしておりますが、現地価格・原材料高の影響が継いでおりますが、アイテムの提案等により、売上高・取扱数量ともに微増となりました。

輸入鶏肉については、利益率の高い商品・取引を積み上げることができた結果、売上高・取扱数量ともに増加となりました。国産鶏肉については、利益率の高い部位の成約及び新規取引先の開拓を積み上げてきておりますが、売上高・取扱数量ともに横ばいとなりました。タイ産加工食品は、新規商材の提案による利益率の高い商材の販売が成約した結果、売上高・取扱数量ともに増加となりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は、26億35百万円(前年同四半期累計期間比22.5%増)、セグメント利益は、76百万円(前年同四半期累計期間比54.7%増)となりました。

(農産部)

農産品については、大豆等の産地価格の高騰等により厳しい環境にあり、新規契約による利益率の高い商品の販売を進めており、砂糖の引渡しができたものの、前年同四半期比では減少となりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は、5億9百万円(前年同四半期累計期間比35.1%減)、セグメント利益は、12百万円(前年同四半期累計期間比151.5%増)となりました。

(中国開拓部)

中国関連については、中国での美容や健康への需要は増加しているものの、中国のネット事業者向け商材の販売が販売体制の見直しにより、一時的に減少し、売上高・取扱数量が減少となりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は、15億38百万円(前年同四半期累計期間比26.7%減)、セグメント利益は、30百万円(前年同四半期累計期間比26.2%減)となりました。

(生活産業部)

輸入豚肉については、供給過多による在庫過剰、価格及び輸送コストの上昇が継続しております。さらに、需要が予想に反して減少しており、価格上昇に市場が追いついていない状況が継続していることから、当第1四半期累計期間においては、売上高・取扱数量ともに減少となりました。

化学品については、価格競争や為替相場の変動により商品となる原材料の確保が難しい状況が継いでおり、他の新規商材を開拓しているものの、取引量を伸ばすことができませんでした。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は、1億89百万円(前年同四半期累計期間比77.7%減)となりました。セグメント利益は、1百万円(前年同四半期累計期間比83.1%減)となりました。

なお、タイ王国における日本のラーメンブランドの海外展開及び高品質な日本食品(和牛、地鶏等)の輸出・海外展開を担うことを目的として2025年10月に設立致しました株式会社TBK GLOBAL TABLEにつきましては、現地における店舗展開を目的とした製品開発を進めしており、今後の海外展開に向けた準備を現在進めております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期累計期間末の資産につきましては、受取手形及び売掛金、商品の減少等に伴い、前事業年度末に比べ1億19百万円減少し、82億44百万円となりました。

負債につきましては、主に借入金の返済等により前事業年度末に比べ1億73百万円減少し、71億97百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純利益の計上及び繰延ヘッジ損益の増加により前事業年度末に比べ54百万円増加し、10億47百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2025年11月14日に公表いたしました予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位 : 千円)

	前事業年度 (2025年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	265,969	351,902
受取手形及び売掛金	5,888,553	5,528,833
電子記録債権	8,219	9,147
商品	1,302,598	1,299,647
その他	294,379	453,715
流动資産合計	7,759,722	7,643,246
固定資産		
有形固定資産	211,436	209,425
無形固定資産	17,596	17,586
投資その他の資産	375,140	373,979
固定資産合計	604,172	600,990
資産合計	8,363,894	8,244,237
负债の部		
流动負債		
支払手形及び買掛金	1,100,492	1,169,347
短期借入金	5,907,835	5,607,835
未払費用	151,099	139,068
その他	74,312	140,556
流动負債合計	7,233,740	7,056,808
固定負債		
退職給付引当金	100,666	102,035
その他	36,404	38,228
固定負債合計	137,071	140,263
负债合計	7,370,812	7,197,071
純資産の部		
株主資本		
資本金	257,792	257,792
資本剰余金	157,792	157,792
利益剰余金	558,438	609,308
自己株式	△1,037	△1,037
株主資本合計	972,986	1,023,857
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	2,418	3,889
評価・換算差額等合計	2,418	3,889
新株予約権	17,677	19,418
純資産合計	993,082	1,047,165
负债純資産合計	8,363,894	8,244,237

(2) 四半期損益計算書

(単位 : 千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
売上高	5,891,597	4,873,349
売上原価	5,691,718	4,674,444
売上総利益	199,878	198,904
販売費及び一般管理費	147,473	115,946
営業利益	52,404	82,958
営業外収益		
受取賃貸料	3,159	3,143
為替差益	4,727	1,445
その他	319	927
営業外収益合計	8,206	5,516
営業外費用		
支払利息	15,583	22,465
その他	2,343	4,620
営業外費用合計	17,926	27,085
経常利益	42,684	61,388
税引前四半期純利益	42,684	61,388
法人税、住民税及び事業税	6,894	9,417
法人税等還付税額	△385	—
法人税等調整額	△36	1,100
法人税等合計	6,472	10,518
四半期純利益	36,212	50,870

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,851千円	2,011千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 : 千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期損益計算書 計上額(注) 2
	食料部	農産部	中国開拓部	生活産業部	計		
売上高 外部顧客への売上高 セグメント間の内部売上高又は振替高	2,151,138	786,619	2,100,342	853,497	5,891,597	—	5,891,597
計	2,151,138	786,619	2,100,342	853,497	5,891,597	—	5,891,597
セグメント利益	49,708	4,862	41,402	11,813	107,786	△55,382	52,404

(注) 1. セグメント利益の調整額△55,382千円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 : 千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期損益計算書 計上額(注) 2
	食料部	農産部	中国開拓部	生活産業部	計		
売上高 外部顧客への売上高 セグメント間の内部売上高又は振替高	2,635,713	509,777	1,538,166	189,691	4,873,349	—	4,873,349
計	2,635,713	509,777	1,538,166	189,691	4,873,349	—	4,873,349
セグメント利益	76,914	12,230	30,527	1,988	121,661	△38,702	82,958

(注) 1. セグメント利益の調整額△38,702千円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。